

(表)

記入例

令和〇年〇〇月△△日

上市町長 宛て

(申請者)

提出日を記入

申請書は、夫婦のどちらか本人が申請者として記入してください。

住所 上市町〇〇 △番地 □□アパート ××号
氏名 上市 太郎
電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

上市町結婚新生活支援補助金交付申請書兼実績報告書

上市町結婚新生活支援補助金の交付を受けたいので、上市町結婚新生活支援補助金交付要綱（令和2年上市町告示第10号）第7条の規定により、次のとおり申請し、及び対象経費の実績を報告します。

1	婚姻年月日	2 は住民票を確認し、現に同居している住宅に住民票をおいた日を記入します。令和6年5月6日	
2	新居等に住所を定めた年月日	(夫) 令和6年5月15日	(妻) 令和6年5月15日
3	新婚夫婦の所得の合算額	夫	所得額 3,000,000 円①
			奨学金返済額 150,000 円②
		妻	所得額 1,500,000 円③
			奨学金返済額 0 円④
		計(①-②+③-④)	4,350,000 円
4 対象 経費 内 訳	住居費（新築・取得）	契約締結年月日	年 月 日
		契約金額（建物分）	円⑤
	住居費（リフォーム）	契約締結年月日	年 月 日
		契約金額	賃貸借契約書に記載されている契約締結日を記入します。円⑥
	夫婦共に住宅手当が支給されている場合は、貸借支給額の合計額を記入します。	契約締結年月日	令和6年5月7日
		賃料（月額）	50,000 円⑦
		住宅手当（月額）	10,000 円⑧
		共益費（月額）	2,000 円⑨
		実質負担額×補助対象月数+（ ）日分 (⑦-⑧+⑨)×(5)月数 + () 円	210,000 円⑩
		敷金、礼金、仲介手数料又は保証金	50,000 円⑪
		小計(⑩+⑪)	260,000 円⑫
	引越費用	引越年月日	令和6年5月10日
引越費用		55,000 円⑬	
他の補助等の額	その他補助金や勤務先からの手当(引越手当等)が支給されている場合に記入します。0 円⑭		
対象経費の合計額(⑤+⑥+⑫+⑬-⑭)		315,000 円⑮	
5	補助金の交付申請額（前年度に本補助金の交付決定を受けている場合は、裏面に記入してください。） ⑮（1,000 円未満の端数切捨て）と 300,000 円（新婚夫婦ともに 29 歳以下の場合は、600,000 円）のいずれか低い額		300,000 円

備考 賃料に駐車場代を加算することができる場合は、その住宅の賃貸借契約に基づく駐車場代であって、その契約書等により賃料と区分することができない場合に限りま。 （裏面に続く。）

6 前年度に本補助金の交付決定を受けている場合のみ記入	前年度に交付決定を受けた経費の種類： 新築・取得 / リフォーム / 賃借 / 引越	
	前年度上限額	円⑩
	前年度交付（見込）額	円⑪
	当年度上限額（⑩-⑪）	円⑫
	当年度交付申請額⑬と⑫のいずれか低い額（1,000 円未満の端数切捨て）	円

＜添付書類＞

添付書類を全て揃えた状態で、申請書を提出してください。

- 1 戸籍謄本の写し又は婚姻届受理証明書その他の新婚夫婦の婚姻日及び双方の生年月日を確認することができる書類
- 2 住民票（新婚夫婦双方の住所を確認することができるものに限る。）の写し
- 3 新婚夫婦の所得証明書
- 4 奨学金返還証明書その他の貸与型奨学金の返済額を確認することができる書類（貸与型奨学金を返済した場合に限る。）
- 5 住宅の新築に係る建物の工事請負契約書の写し（住宅を新築した場合に限る。）
- 6 住宅の取得に係る建物の売買契約書の写し（住宅を取得した場合に限る。）
- 7 住宅のリフォームに係る工事請負契約書又は請書の写し（住宅をリフォームした場合に限る。）
- 8 住宅の賃貸借契約書の写し（住宅を賃借（その契約名義が新婚夫婦のうちいずれかのものであるものに限る。）した場合に限る。）
- 9 勤務先に賃料相当額を支払ったことを確認することができる書類（住宅を賃借（その契約名義が新婚夫婦のうちいずれかのものの勤務先であるものに限る。）した場合に限る。）
- 10 領収書の写しその他の対象経費を支払ったことを証する書類
- 11 給与明細の写し、住宅手当支給証明書（様式第2号）その他の住宅手当の支給額を確認することができる書類（新婚夫婦がともに無職又は自営業である場合を除く。）
- 12 補助金以外の補助等（住宅手当を除く。以下この項において同じ。）の額を確認することができる書類（対象経費に対し補助金以外の補助等を受けた場合に限る。）
- 13 同意書兼誓約書（様式第3号）
- 14 その他補助金の交付の審査に関し町長が必要と認める書類

様式第2号（第8条、様式第1号関係）

この証明書は、勤務先など給与の支払者に発行を依頼してください。
夫婦がともに給与所得者の場合は、双方の証明書が必要です。

令和△年〇〇月□□日

（給与等の支払者）

所在地 上市町△△△ 〇〇番地

名称 株式会社 □□

代表者氏名 会社代表者の氏名

電話番号



印

住宅手当支給証明書

住宅手当の支給について、次のとおり証明します。

法人の場合は社印又は代表者印を、
個人事業主の場合は代表者印を押印
してください。

1 住宅手当の支給対象者

(1) 住所 上市町〇〇 △△番地 □□アパート ××号

(2) 氏名 上市 太郎

2 住宅手当の支給の状況等

(1) 現在の支給の有無 有

「有」又は「無」のいずれかを記入してください。

(2) 支給期間 令和△年□月分から令和△年〇月分まで

(3) 支給金額 月額 10,000 円

<注意事項>

- 1 住宅手当とは、住宅に関して事業主が従業員に対し支給し、又は負担する全ての手当等をいいます。
- 2 法人の場合は社印又は代表者印を、個人事業主の場合は当該個人事業主の印を押印してください。

上市町長 宛て

住所 上市町〇〇 △△番地 □□アパート ××号

申請者氏名（署名） 上市 太郎

配偶者氏名（署名） 上市 花子

同意書兼誓約書

次に掲げる事項について、同意し、及び誓約します。

1 同意事項（同意する事項の申請者及び配偶者の欄に✓を付してください。）

申請者	配偶者	事項
✓	✓	※申請者及び配偶者の婚姻届又は戸籍、住民票、所得及び町税の納付状況について、補助金の交付の審査に必要な範囲内で、公簿等を閲覧し、及び関係機関に資料等を求めること。

2 誓約事項（誓約する事項の申請者及び配偶者の欄に✓を付してください。）

申請者	配偶者	事項
✓	✓	※上市町補助金等交付規則及び上市町結婚新生活支援補助金交付要綱の規定を遵守すること。
✓	✓	※本制度に基づく補助を過去に受けていないこと。
✓	✓	※上市町暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団又は同条第3号に規定する暴力団員等と関係がないものであること。
✓	✓	※補助金の交付申請の内容に虚偽又は不正があった場合は、速やかに補助金を返還すること。
✓	✓	対象経費につき他の補助等（住宅手当を除く。）を受けていないこと。
✓	✓	住宅の新築、取得、リフォームに関して、国が実施する別表に掲げる補助を受けていないこと。
	✓	住宅の賃借に要する経費について、次の理由により住宅手当の支給を受けていないこと。 <理由（該当の項目に☑を付し、又は必要な事項を記入してください。）> ☑無職であるため （夫）旧勤務先 _____ 退職年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 （妻）旧勤務先 〇〇〇商社 _____ 退職年月日 令和3年10月31日 □自営業であるため
✓	✓	その他誓約につき町長が必要と認める事項

備考 ※欄の事項については、申請者及び配偶者ともに同意又は誓約が必須の事項です。

様式第6号（第11条関係）

令和〇年△△月□□日

上市町長 宛て

（請求者）

住所 上市町〇〇 △△番地 □□アパート ××号
氏名 上市 太郎 印
電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

交付申請者と同一の方がご請求願います（受取口座名義も同様です）。捺印が必要です。

上市町結婚新生活支援補助金交付請求書

令和□年〇〇月△△日付け上福第××号で交付の決定及び額の確定のあった上市町結婚新生活支援補助金について、上市町結婚新生活支援補助金交付要綱（令和2年上市町告示第10号）第11条第1項の規定により、その交付を次のとおり請求します。

1 補助金の交付請求額 金 300,000 円

2 補助金の振込先

金融機関	〇〇 銀行 信用金庫 農協 労働金庫	〇〇 本店 支店 出張所
口座の種別	普通 ・ 当座 ・ その他（ ）	
フリガナ	カミイチ タロウ	
口座名義人	上市 太郎	
口座番号	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	

姓と名の間は、一字分スペースを開けて記入してください。

備考

- 1 口座名義人については、必ず補助金の交付申請者と同一の者とする。
- 2 金融機関の欄については、必要な事項を記入し、及び該当の項目に○を付してください。
- 3 口座の種別の欄については、該当の項目に○を付し、又は必要な事項を記入してください。